

こんにちは 家畜保健衛生所です

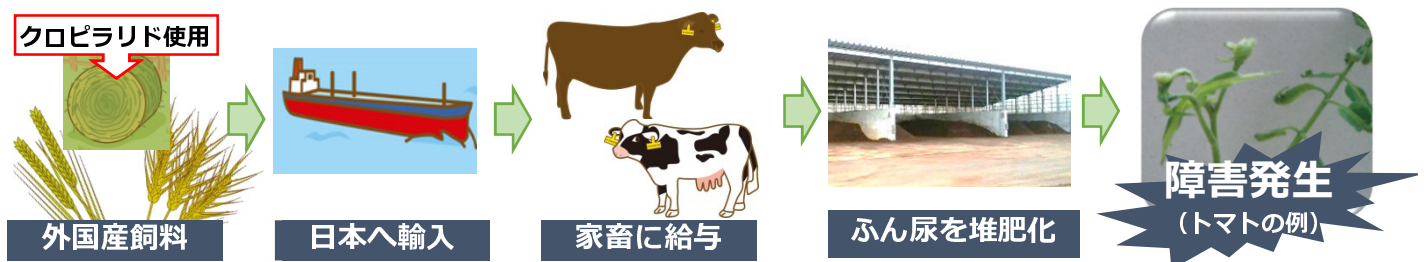
家保便り 令和5年4月

堆肥中のクロピラリド対策について ～畜産農家における取組～

海外で使用されている農薬成分「クロピラリド※¹」が輸入飼料に含まれていた場合、その成分が堆肥に残留することで、クロピラリド耐性が弱い作物※²に生育障害を引き起こします。

※¹クロピラリドは家畜や人に対する毒性が低く、**家畜や人の健康に心配はありません。**

※²主に**ナス科、マメ科、キク科等の作物はクロピラリド耐性が弱く**、ポットや施設栽培で障害が発生しやすいことが報告されています。



クロピラリド障害の発生を防ぐために、
次のポイントに注意しましょう！



- 飼料に**クロピラリドが含まれる可能性**がある場合、堆肥を提供する際は、次の点を**情報共有**しましょう。
 - ①堆肥中に**クロピラリドが残留している可能性**がある点
 - ②**クロピラリド耐性が弱い作物への使用には注意**する点
- 飼料によってクロピラリド濃度が異なるため、飼料の種類や購入先を切替えた場合は注意しましょう。